

青森県医療審議会 第2回医療計画部会

日 時 平成27年8月4日(火)

午後2時から

場 所 青森国際ホテル本館3階「孔雀の間」

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 地域医療構想の策定について

- ① 医療計画部会の進め方
- ② 構想区域の検討の進め方
- ③ 医療需要の推計、必要病床数の推計
- ④ 患者の流出入の状況

3 その他

4 閉 会

第2回医療計画部会 配布資料一覧

- 資料1 医療計画部会の進め方
- 資料2 構想区域の検討の進め方
- 資料3 医療需要の推計、必要病床数の推計
 - (1) 推計方法等について
 - (2) 青森県の人口及び入院患者数の推計
 - (3) " (2次医療圏別)
 - (4) 2025年の必要病床数の推計
 - (5) 推計値の取扱いについて
- 資料4 患者の流出入の状況
 - (1) 患者流出入を踏まえた都道府県間調整について
 - (2) 2025年4医療機能別医療需要（流出入）
- 参考資料1 2025年の医療需要と必要病床数＜パターンA、B、Cによる推計＞
- 参考資料2 地域医療策定における患者流出入を踏まえた必要病床数推計の都道府県間調整方法（案）
- 参考資料3 医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会（第1次報告）

医療計画部会の進め方

【策定プロセス】

1 地域医療構想の策定を行う体制の整備※

※ 地域医療構想調整会議は、地域医療構想の策定段階から設置も検討

2 地域医療構想の策定及び実現に必要なデータの収集・分析・共有

(今後HPIに掲載)

3 構想区域の設定※

※ 二次医療圏を原則としつつ、①人口規模、②患者の受療動向、③疾病構造の変化、④基幹病院までのアクセス時間等の要素を勘案して柔軟に設定

4 構想区域ごとに医療需要の推計※

※ 4機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)ごとの医療需要を推計

5 医療需要に対する医療供給(医療提供体制)の検討※

高度急性期	… 他の構想区域の医療機関で、医療を提供することも検討(アクセスを確認)	} 主な疾病ごとに検討
急性期	… 一部を除き構想区域内で完結	
回復期	… 基本的に構想区域内で完結	
慢性期	… 基本的に構想区域内で完結	

※ 現在の医療提供体制を基に、将来のあるべき医療提供体制について、構想区域間(都道府県間を含む)で調整を行い、医療供給を確定

6 医療需要に対する医療供給を踏まえ必要病床数の推計

7 構想区域の確認

必要病床数と平成26年度の病床機能報告制度による集計数の比較

8 平成37(2025)年のあるべき医療提供体制を実現するための施策を検討

日程と内容(予定)

第1回 (H27. 6. 10)

- 組織会
- 地域医療構想策定ガイドラインの説明
- 策定手順・スケジュールの確認

第2回 (H27. 8. 4)

- 構想区域の検討
- 将来の人口等の推計の確認
- 省令等に基づく、将来の医療需要、必要病床数の推計値の説明
- 患者の流出入等の状況の確認

第3回 (H27. 9. 14)

- 医療提供体制の現状・課題等の確認
- 患者流出入や医療提供体制を踏まえた構想区域の設定や圏域ごとの必要病床数の調整
- 病床の機能区分ごとの必要病床数を踏まえた医療提供体制を実現するための施策の検討

第4回 (H27. 10月予定)

- 地域医療構想試案の提示

第5回 (H28. 1月予定)

- 圏域ヒアリング等における意見への対応
- 素案の提示

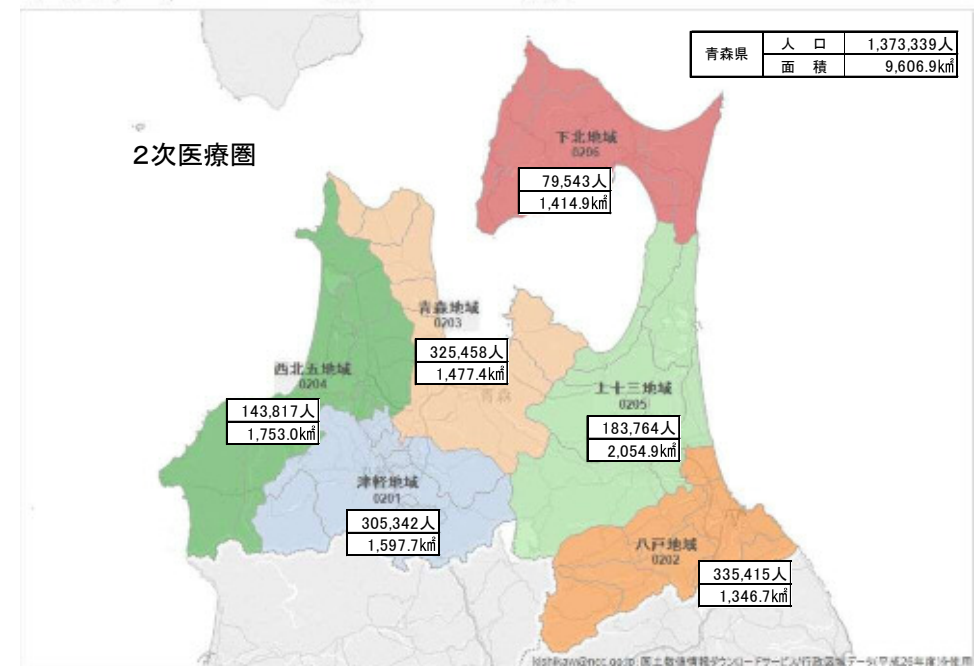
構想区域の検討の進め方

<地域医療構想策定ガイドラインより>

- 現行の2次医療圏を原則としつつ、人口規模、患者の受療動向、疾病構造の変化、基幹病院までのアクセス時間の変化など、将来における要素を勘案して検討する必要。
- 医療介護総合確保区域（医療介護総合確保法第4条第2項）と相互に整合的な設定が求められる。
⇒都道府県が地理的条件、人口、交通事情、医療機関、介護施設等の整備状況等から設定
- 高度急性期は、必ずしも当該構想区域で完結することを求めるものではない。
急性期、回復期、慢性期は、できるだけ構想区域内で対応することが望ましい。
具体的には、緊急性の高い脳卒中、虚血性心疾患を含む救急医療については、アクセス時間等を考慮した上で、構想区域を越えて流入することもやむを得ない。一方で、高齢者の肺炎や大腿骨頸部骨折など回復期につなげることの多い疾患は、構想区域内で対応する必要。
- 平成30年度からの次期医療計画の策定において、最終的に2次医療圏と構想区域を一致させることが適当。

【今後の対応（案）】

- 今後の医療需要の推計、医療提供体制等の検討は、現行の2次医療圏を単位として行う。
- そのうえで、検討の経緯や各種データ等を踏まえて、構想区域の設定について協議し、試案策定までに部会案を決定することとする。
- 地域医療構想において、現行の2次医療圏と異なる構想区域を設定した場合には、次期医療計画において2次医療圏を構想区域に一致させる。



医療需要の推計 必要病床数の推計

(1) 推計方法等について

前提条件等

- 構想区域における将来の病床数の算定方法は、厚生労働省令において定められている。
- 地域医療構想の策定に必要なデータについては、厚生労働省が一元的に整備して都道府県に提供（技術的助言）することとされており、今回の推計は、平成27年6月に国から配布された「地域医療構想策定支援ツール」により算定している。

<地域医療構想策定ガイドラインより>

高度急性期、急性期、回復期の医療需要

- 2013年度（平成25年度）1年分のNDBのレセプトデータ及びDPCデータ等を使用。
- 2025年の性・年齢階層別人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」を使用。

<高度急性期、急性期、回復期の入院受療率>

$$\frac{\text{性・年齢階級別の年間入院患者の延べ数(人)}}{365(\text{日})} = \text{1日当たり入院患者延べ数}$$
$$\frac{\text{1日当たり入院患者延べ数}}{\text{性・年齢階級別の人口}} = \text{入院受療率}$$

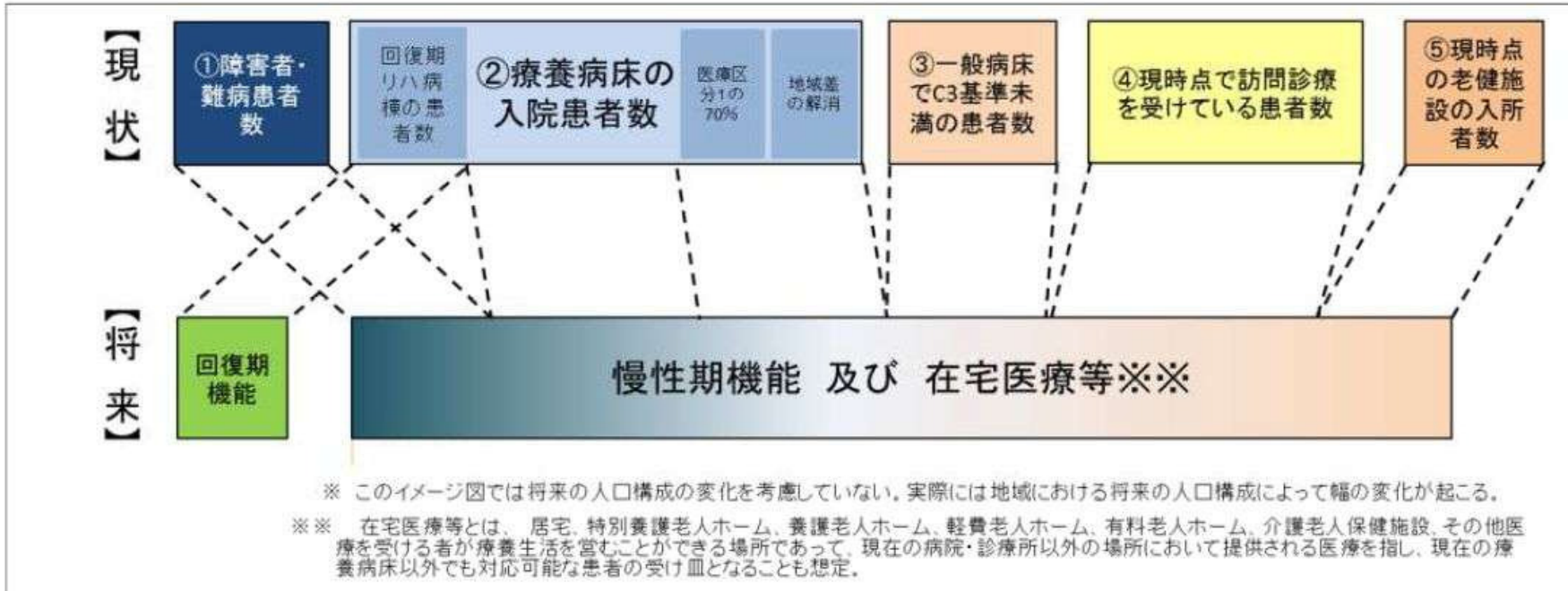
<構想区域の2025年の医療需要>

- 2013年と2025年の入院受療率は同じと仮定し、推計を乗じて算定。

$$\text{構想区域の2025年の医療需要} =$$
$$[\text{当該構想区域の2013年度の性・年齢階級別の入院受療率} \\ \times \text{当該構想区域の2025年の性・年齢階級別推計人口}] \text{を総和したもの}$$

慢性期の医療需要

○ 慢性期機能及び在宅医療等の医療需要のイメージ



- 慢性期の中に在宅医療等で対応することが可能と考えられる患者数を一定程度見込むという前提に立ち、さらに療養病床の入院受療率の地域差を縮小するよう地域が一定の幅の中で目標を設定することで、これに相当する患者数を推計する。
- <パターンA>
全ての2次医療圏の療養病床の入院受療率を全国最小値（県単位）にまで低下するとして、推計。
 - <パターンB>
全ての2次医療圏において療養病床の入院受療率と全国最小値（県単位）との差を一定割合（全国最大値（県単位）が全国中央値（県単位）にまで低下する割合）解消するとして、推計。
 - <パターンC>
要件（ガイドラインP18）に該当する全ての2次医療圏は、パターンBの目標入院受療率の達成年次を2030年（平成42年）とし、2025年（平成37年）においては、2030年から比例的に逆算した入院受療率まで低下するとし、その他の2次医療圏は、2025年までにパターンBの目標入院受療率まで低下するとして、推計。

必要病床数の推計

- 上記により算出した医療需要を、病床稼働率で除して得た数を病床の必要量（必要病床数）とする。
（病床稼働率）高度急性期：75% 急性期：78% 回復期：90% 慢性期：92%

施設所在地ベースと患者住所地ベース

<施設所在地ベース>

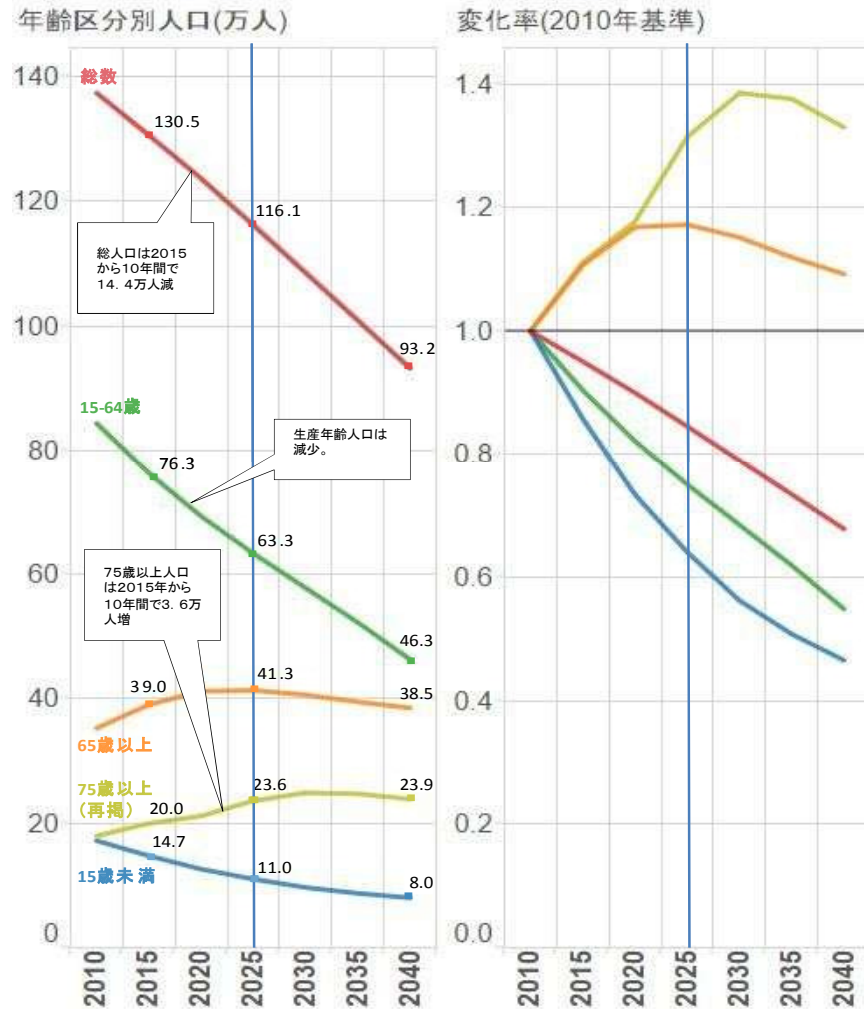
構想区域に所在する医療機関が提供している医療供給量。
患者の流出入が現状のまま継続するものとして、推計したもの。

<患者住所地ベース>

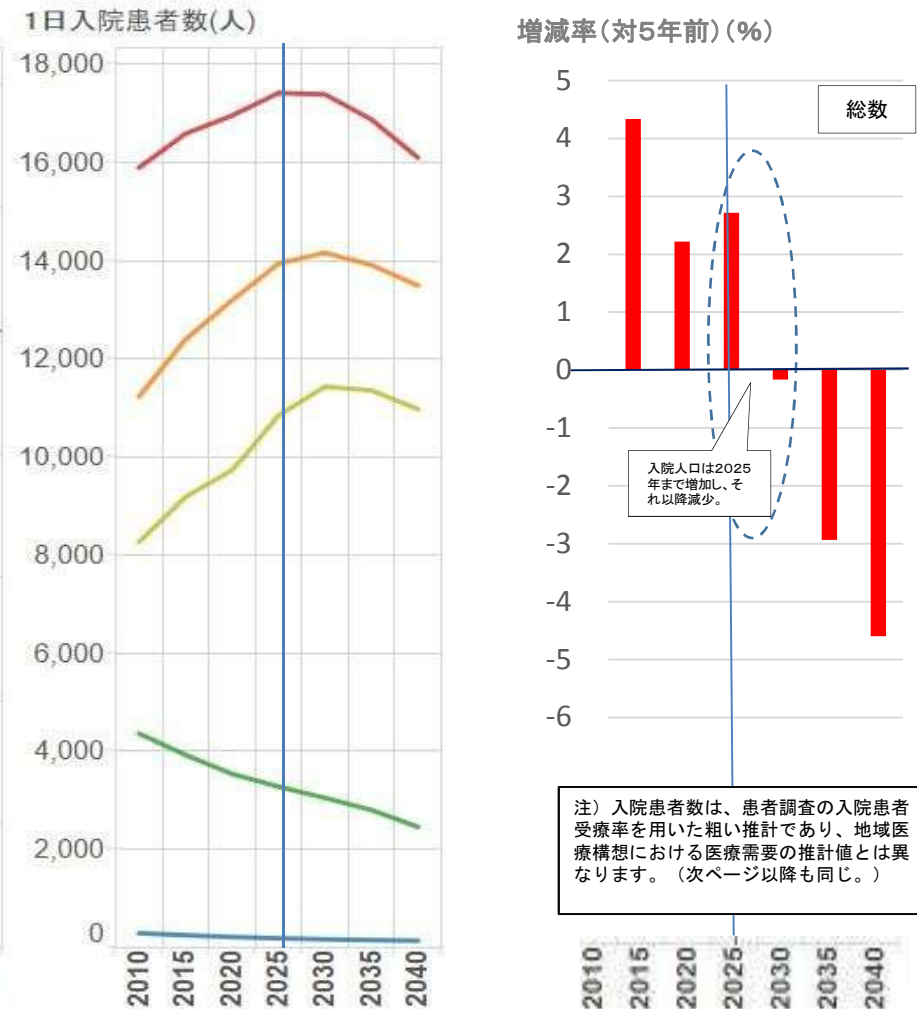
構想区域内に居住している患者の医療需要。
患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の2次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、推計したもの。

(2) 青森県の人口及び入院患者数の概要

人 口



入院患者数



H23患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

注) 入院患者数は、患者調査の入院患者受療率を用いた粗い推計であり、地域医療構想における医療需要の推計値とは異なります。(次ページ以降も同じ。)

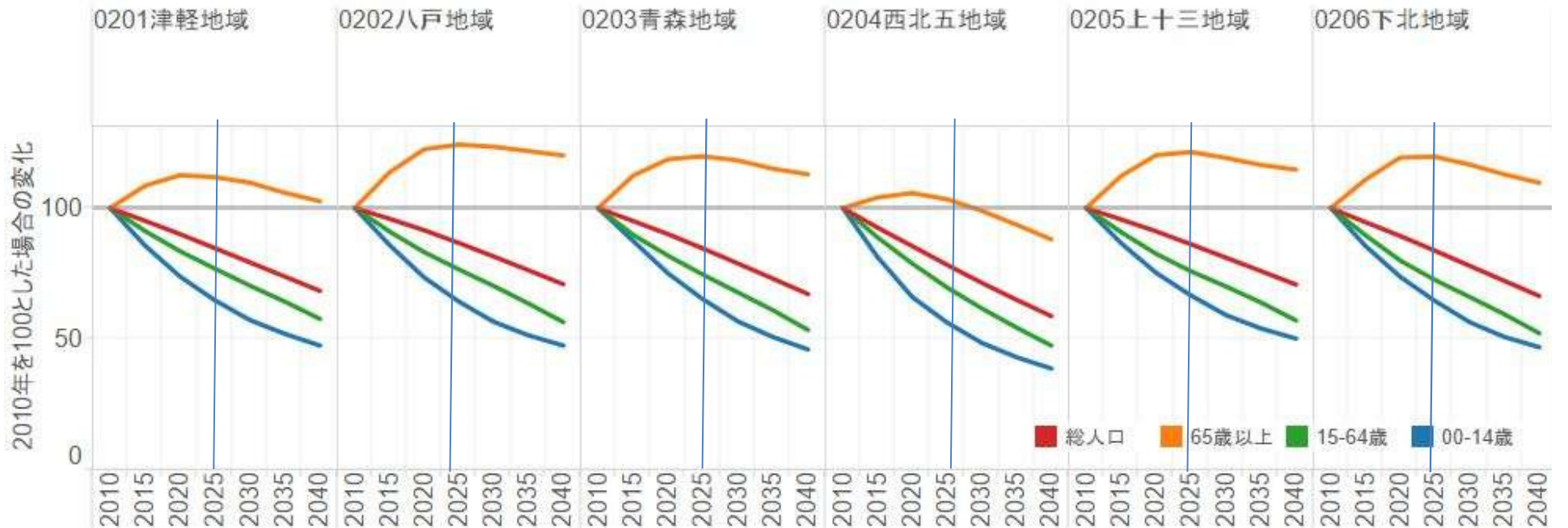
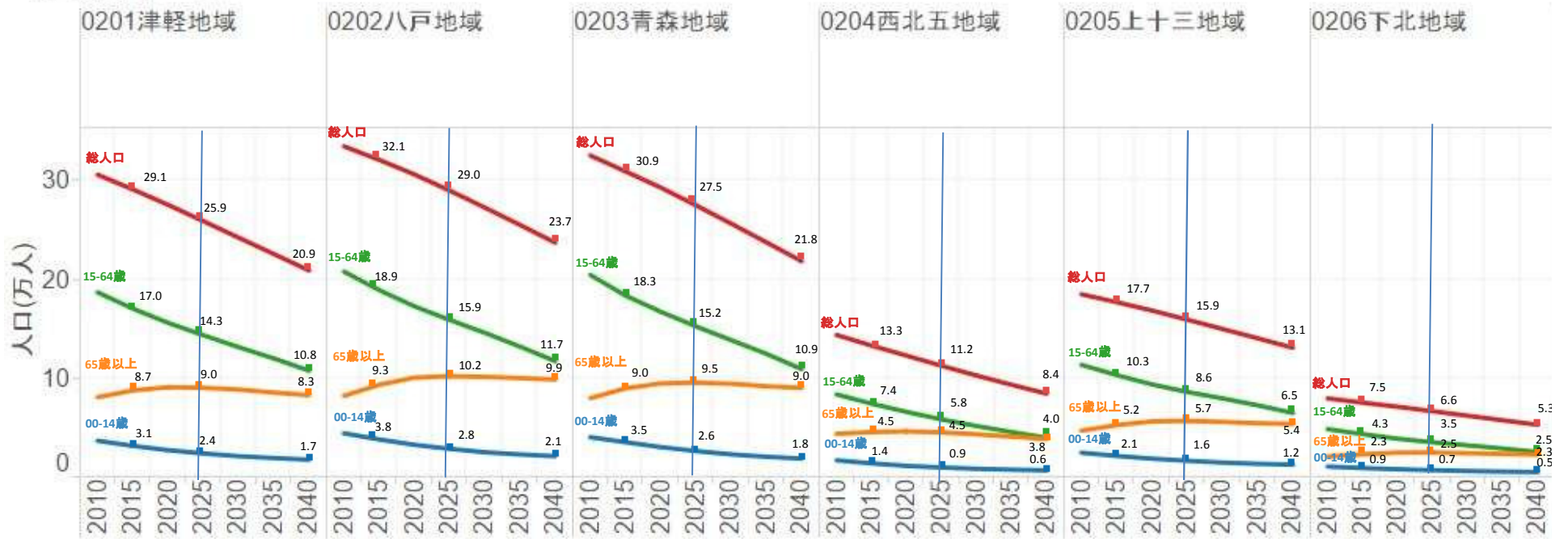
- 青森県の総人口は、2015年から2025年の間に約14.4万人減少する推計。
- 生産年齢人口が減少する一方、75歳以上人口は、2015年から2025年までに約3.6万人増加。
- 入院患者数は、高齢者の増加に伴って増加するが、2025年をピークに以降は減少に転じる見込み。

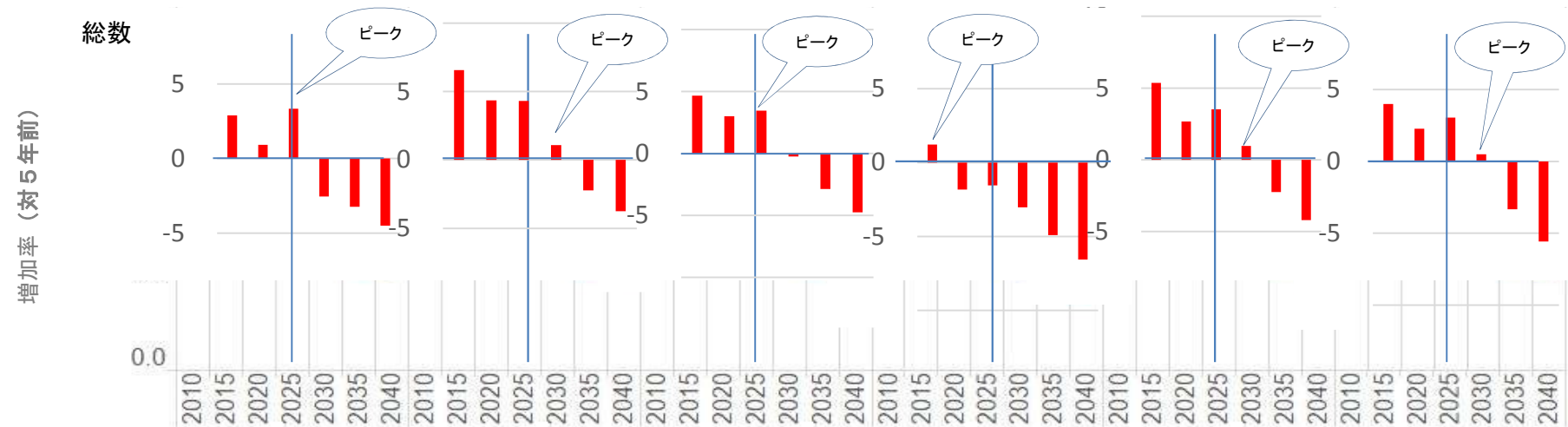
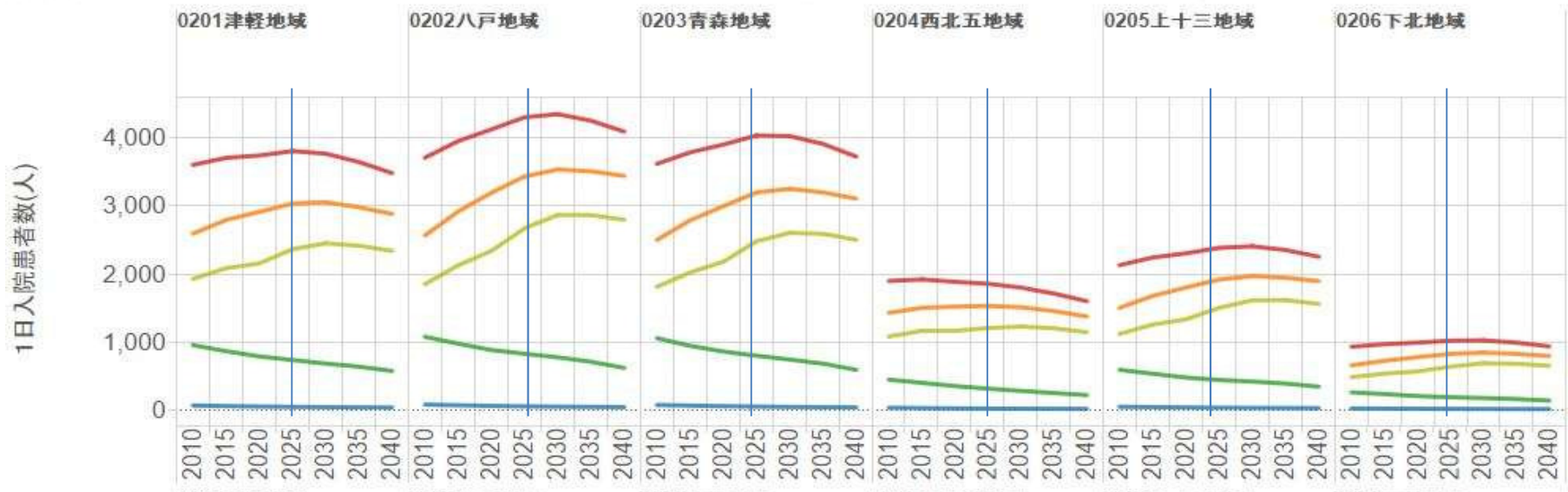
(3) 青森県の人口及び入院患者数の推計（2次医療圏別）

2次医療圏人口の変化

都道府県 02青森県

MED2title すべて

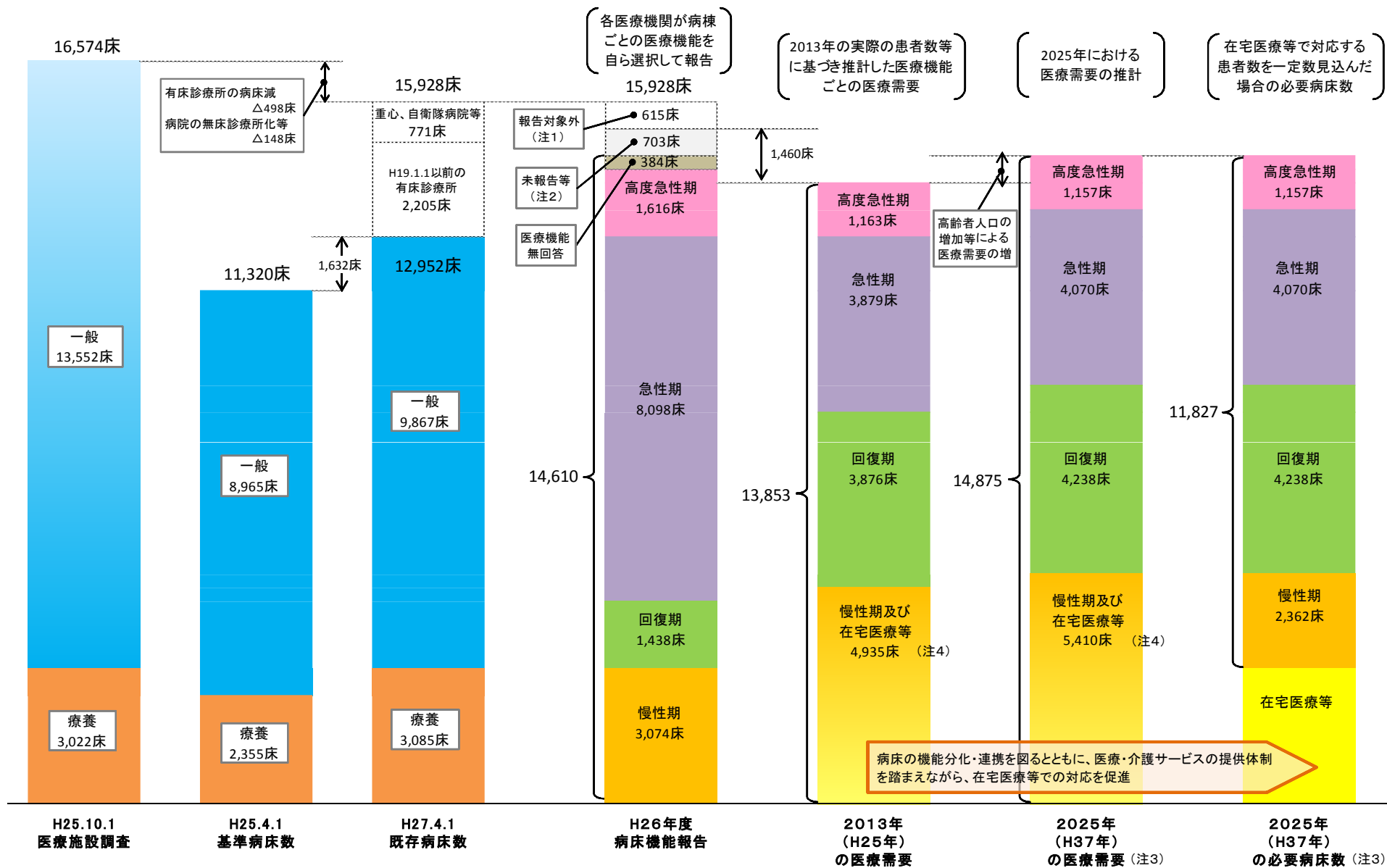




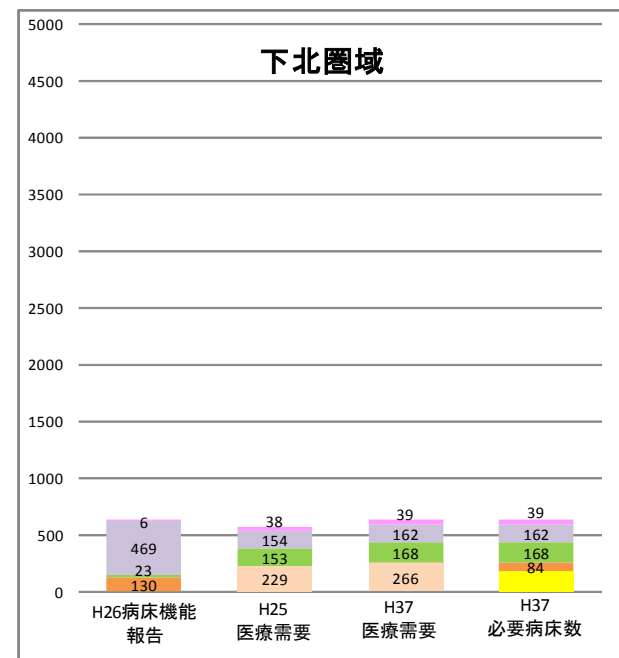
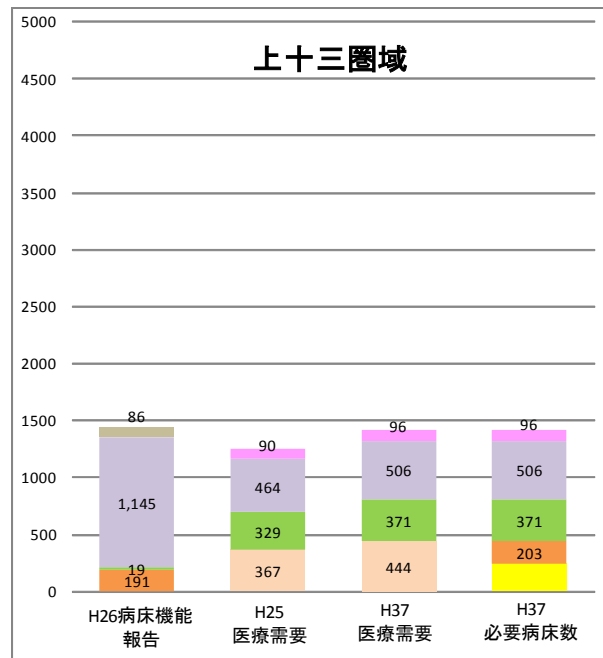
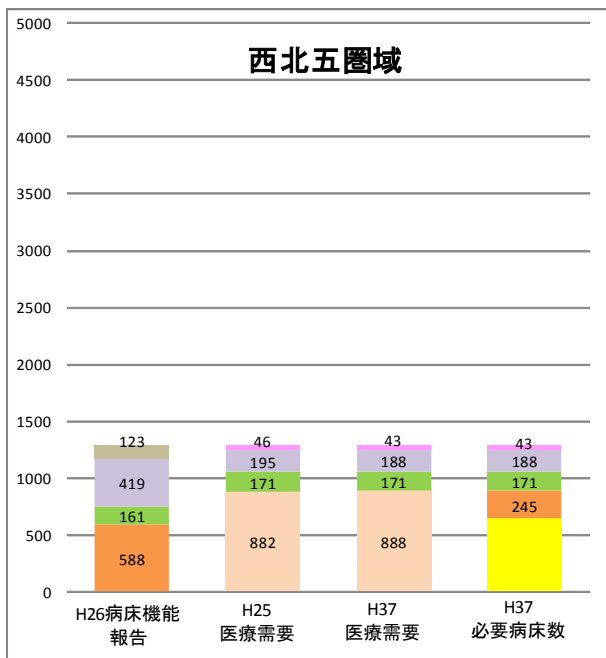
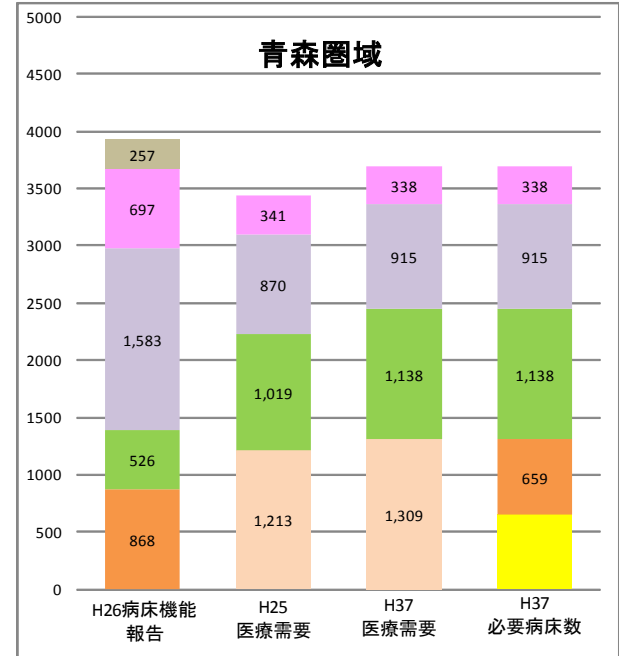
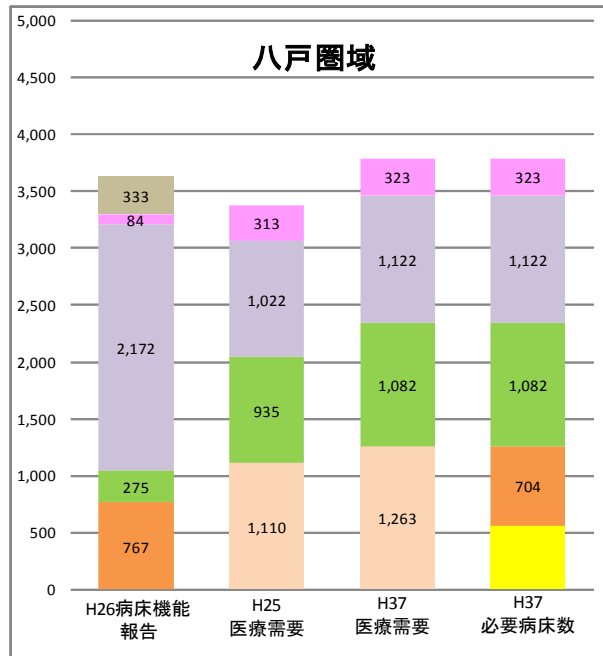
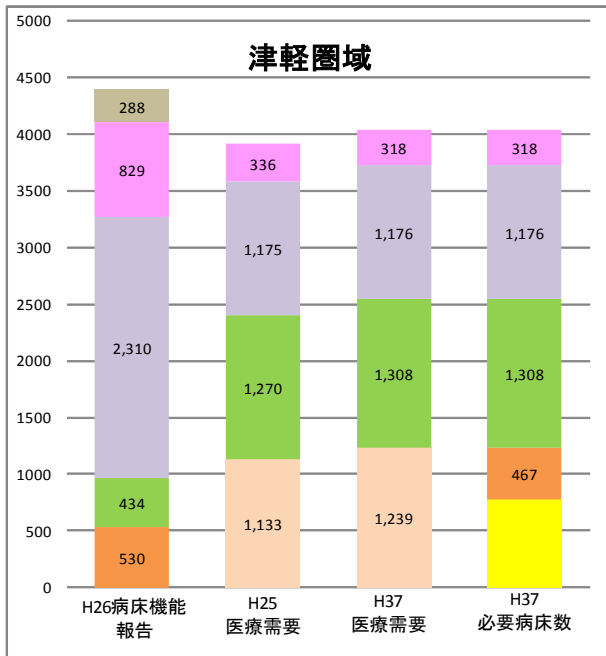
H23患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

- 入院患者数について、西北五地域の入院患者数のピークは2015年で、最も早く入院患者数の減少がはじまると見込まれる。
- 津軽地域と青森地域は2025年をピークに、八戸地域、上十三地域、下北地域は2030年をピークに以降は減少する見込み。

(4) 2025年の必要病床数の推計【青森県】



(注1) H26年度病床機能報告における「報告対象外」は、平成26年7月1日以降、全ての許可病床を返還済又は返還予定の有床診療所、保険医療機関でない自衛隊病院等。
 (注2) H26年度病床機能報告における「未報告等」は、未報告及び報告内容に疑義があるため医療機能に区分できないもの。(確認精査中。)
 (注3) 2025年の医療需要、必要病床数は、「施設所在地ベース」及び「パターンB(西北五圏域はパターンC)」の場合の推計値。その他のパターンは、【参考資料1】を参照のこと。
 (注4) 在宅医療等の医療需要は、慢性期の病床稼働率(92%)で除して、病床数に換算。



(5) 推計値の取扱いについて

- 今回の推計値は、厚生労働省令で定める算定方法に基づき算定したものであるが、今後、患者の受療動向に伴う構想区域間あるいは都道府県間の調整、療養病床の入院受療率の状況などの地域の実情も踏まえ、地域の意見を十分に聴取しながら、青森県医療審議会医療計画部会において協議を行うこととしており、直ちに本県の地域医療構想で定める2025年の必要病床数となるものではない。
- 地域医療構想は、将来の人口構造や疾病の状況の変化の見通しに合わせ、急性期から回復期、慢性期、在宅医療、介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、また、過不足なく提供される体制を確保することを目指して策定するものである。
- 特に、慢性期の医療需要については、病床の機能分化・連携により、将来、介護施設や高齢者住宅を含む在宅医療で対応することが可能と考えられる患者数を一定程度見込むという前提のもと推計しているものであり、医療・介護サービスの提供体制も踏まえながら、慎重に検討していくこととしている。

「6月15日の内閣官房専門調査会で報告された必要病床数の試算値について」
(平成27年6月18日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知抜粋)

- 今回の推計値は、地域医療構想策定ガイドラインで示した計算方法を一定の仮定をおいて機械的に全国の人口推計等を代入して計算した参考値としての位置付けであること。
- 昨年の医療法改正で都道府県知事の対応の規定を新設したが、不足している医療機能の充足等を求めるものなどであり、稼働している病床を削減させるような権限は存在しないこと。
- 地域医療構想は、地域の実情に応じて、都道府県、医療関係者等が話し合い、将来の医療需要の変化の状況を共有し、それに適合した医療提供体制を構築するための、あくまでも自主的な取組が基本であること。
- また、地域医療構想は2025年に向けての取組であり、個々の医療機関の医療提供の方針を踏まえつつ、丁寧に調整を行っていくものであり、直ちに何らかの措置を講じさせるものではないこと。
- 何よりも、在宅医療等も含めた地域での医療提供体制を全体として検討される中で、需要に応じた適切な医療提供体制、病床数となっていくものであること。

資料 4

平成27年8月4日

第2回医療計画部会

患者の流出入の状況

(1) 患者流入を踏まえた都道府県間調整について

<地域医療構想策定ガイドラインより>

- 都道府県間、構想区域間の役割分担を踏まえ、医療需要に対する供給数（構想区域内の医療機関が入院医療を行う患者数）の増減を見込む必要がある。
- 増減を見込む構想区域双方の供給数の合計ができる限り一致することを原則とする。
- 都道府県間の①患者住所地ベースと②施設所在地ベースの乖離が大きい場合や都道府県間の医療提供体制の分担が課題になっている場合は、まずは、関係する都道府県間で調整する必要がある。
- 少なくとも、平成37年（2025年）の医療需要に対する増減のいずれかがおおむね20%又は1000人を超える場合は、調整のための協議を行うこととする。

<厚労省から示された調整方法（案）>【参考資料2参照】

- 平成27年12月を期限に協議を行う。
- 4機能別かつ2次医療圏別の流入が10人未満の場合は、患者の選択等によるものと考え、県間調整の対象外とする。

構想区域ごとの医療機能別医療需要に対する医療供給
(医療提供体制)の状況(脳卒中、心筋梗塞等の主な疾病についても同様の表を作成)

推計年度

平成37年(2025年)

	2025年における	2025年における医療供給(医療提供体制)		
	医療需要 (当該構想区域に居住する患者の医療需要)①	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの②*	従来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの③	病床の必要量(必要病床数) (③を基に病床利用率等により算出される病床数)④
高度急性期 急性期 回復期 慢性期	① 患者住所地に基づき推計した医療需要	② 現在の流出入状況が続くと仮定した場合の推定供給数	③ 流出入を調整した後の推定供給数	④ 病床の必要量

都道府県間・構想区域間の調整

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期それぞれにおける②に関して、厚生労働省がデータ提供の技術的支援



(2) 2025年の4機能別医療需要（流出入）

○ 各圏域の患者（患者住所地）がどこの圏域の医療機関（施設所在地）に入院しているか。

(単位:人/日)

高度急性期		施設所在地						
		県内						県外
		0201: 津軽地域	0202: 八戸地域	0203: 青森地域	0204: 西北五地域	0205: 上十三地域	0206: 下北地域	
患者 住所 地	県内	0201:津軽地域	181.4	*	*	*	*	*
		0202:八戸地域	*	209.6	*	*	*	*
		0203:青森地域	15.1	*	207.0	*	*	*
		0204:西北五地域	25.8	*	*	31.2	*	*
		0205:上十三地域	*	18.4	15.2	*	67.0	*
		0206:下北地域	*	*	10.1	*	*	28.1
	県外							

注)「*」は、10人/日未満の値(0.1~9.9)のため非公表。

(単位:人/日)

回復期		施設所在地						
		県内						県外
		0201: 津軽地域	0202: 八戸地域	0203: 青森地域	0204: 西北五地域	0205: 上十三地域	0206: 下北地域	
患者 住所 地	県内	0201:津軽地域	924.5	*	*	*	*	*
		0202:八戸地域	*	882.4	*	0.0	15.9	*
		0203:青森地域	68.7	*	929.9	*	*	*
		0204:西北五地域	120.0	*	20.5	150.4	*	*
		0205:上十三地域	*	47.3	31.7	*	305.8	*
		0206:下北地域	*	*	23.0	*	*	146.8
	県外	0308:久慈	*	19.1	*	0.0	*	0.0
		0309:二戸	*	10.9	0.0	*	*	0.0
		0501:大館・鹿角	25.8	*	*	*	*	0.0

注)「*」は、10人/日未満の値(0.1~9.9)のため非公表。

(単位:人/日)

急性期		施設所在地						
		県内						県外
		0201: 津軽地域	0202: 八戸地域	0203: 青森地域	0204: 西北五地域	0205: 上十三地域	0206: 下北地域	
患者 住所 地	県内	0201:津軽地域	747.0	*	*	*	*	*
		0202:八戸地域	*	794.0	*	*	15.2	12.4
		0203:青森地域	50.3	*	642.4	*	*	*
		0204:西北五地域	75.8	*	16.6	142.2	*	*
		0205:上十三地域	*	44.7	23.7	0.0	369.0	*
		0206:下北地域	*	*	17.1	*	*	121.1
	県外	0308:久慈	*	15.9	*	0.0	*	0.0
		0501:大館・鹿角	12.5	*	*	*	*	0.0

注)「*」は、10人/日未満の値(0.1~9.9)のため非公表。

(単位:人/日)

慢性期		施設所在地						
		県内						県外
		0201: 津軽地域	0202: 八戸地域	0203: 青森地域	0204: 西北五地域	0205: 上十三地域	0206: 下北地域	
患者 住所 地	県内	0201:津軽地域	387.7	0.0	69.1	*	0.0	0.0
		0202:八戸地域	*	567.2	*	*	17.0	*
		0203:青森地域	27.6	*	430.2	11.9	*	*
		0204:西北五地域	10.4	*	57.0	191.3	0.0	0.0
		0205:上十三地域	0.0	37.7	12.6	0.0	163.4	*
		0206:下北地域	*	*	16.7	0.0	0.0	71.1
	県外	0308:久慈	*	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0

注)「*」は、10人/日未満の値(0.1~9.9)のため非公表。

< 県外からの患者流入（黄色） >

- 八戸圏域には、岩手県久慈圏域及び二戸圏域からの患者流入がある。
- 津軽圏域には、秋田県大館・鹿角圏域からの患者流入がある。

< 県外への患者流出（緑色） >

- 八戸圏域から、岩手県盛岡圏域、二戸圏域及び宮城県仙台圏域への患者流出がある。



都道府県間調整の
必要性について
要検討

(参考)2013年度の医療需要(流出入)

○ 各圏域の患者(患者住所地)がどこの圏域の医療機関(施設所在地)に入院しているか。

(単位:人/日)

		施設所在地											
		県内						県外					
		0201: 津軽地域	0202: 八戸地域	0203: 青森地域	0204: 西北五地域	0205: 上十三地域	0206: 下北地域	0101: 南渡島	0301: 盛岡	0309: 二戸	0403: 仙台	0503: 能代・山本	
患者 住所 地	県 内	0201:津軽地域	2,156.7 (95.8%)	*	95.6 (4.2%)	*	*	*	*	*	*	*	*
		0202:八戸地域	17.2 (0.7%)	2,235.3 (93.3%)	24.3 (1.0%)	*	53.6 (2.2%)	*	*	39.6 (1.7%)	14.7 (0.6%)	12.1 (0.5%)	*
		0203:青森地域	166.6 (7.4%)	*	2,068.4 (91.5%)	16.2 (0.7%)	10.3 (0.5%)	*	*	*	*	*	*
		0204:西北五地域	266.3 (25.1%)	*	127.8 (12.1%)	641.8 (60.6%)	*	*	0.0	*	0.0	*	23.1 (2.2%)
		0205:上十三地域	21.1 (2.0%)	156.8 (14.6%)	85.0 (7.9%)	*	798.9 (74.5%)	10.3 (1.0%)	*	*	*	*	*
		0206:下北地域	18.7 (4.2%)	12.2 (2.7%)	70.8 (15.8%)	*	*	335.9 (74.9%)	11.0 (2.5%)	*	*	*	0.0
	県 外	0308:久慈	*	61.8	*	0.0	*	0.0					
		0309:二戸	*	37.0	*	*	*	0.0					
		0501:大館・鹿角	50.2	*	*	*	*	0.0					

注)「*」は、10人/日未満の値(0.1~9.9)のため非公表。

注)割合(%)は、非公表の数値を分母に含めていないため、あくまで参考値である。

2025年の医療需要と必要病床数 ＜パターンA、B、Cによる推計＞

<2025年の医療需要と必要病床数>

パターンA

圏域	医療機能	2025年の医療需要		2025年の必要病床数			
		医療機関所在地 ベース(人/日)	患者住所地 ベース(人/日)	医療機関所在地ベース(床)		患者住所地ベース(床)	
				①	構成比	②	構成比
県合計	高度急性期	867.9	876.6	1,157.2	9.9%	1,168.9	10.0%
	急性期	3,174.4	3,182.3	4,069.7	34.8%	4,079.9	34.9%
	回復期	3,814.3	3,786.6	4,238.1	36.2%	4,207.3	36.0%
	慢性期	2,055.7	2,055.8	2,234.4	19.1%	2,234.5	19.1%
	計	9,912.2	9,901.3	11,699.4		11,690.6	
	在宅医療等	16,297.6	16,278.7				
	(再掲)うち訪問診療分	6,963.2	6,946.3				
津軽地域	高度急性期	238.8	189.7	318.4	9.8%	252.9	9.1%
	急性期	917.6	761.0	1,176.4	36.1%	975.7	35.2%
	回復期	1,177.5	937.5	1,308.4	40.1%	1,041.7	37.6%
	慢性期	422.2	459.0	458.9	14.1%	498.9	18.0%
	計	2,756.1	2,347.2	3,262.0		2,769.1	
	在宅医療等	3,468.6	3,337.6				
	(再掲)うち訪問診療分	1,431.0	1,378.6				
八戸地域	高度急性期	242.1	235.2	322.8	10.1%	313.6	10.2%
	急性期	875.3	849.3	1,122.2	35.1%	1,088.9	35.5%
	回復期	973.8	935.1	1,082.0	33.9%	1,039.0	33.8%
	慢性期	613.0	579.4	666.3	20.9%	629.8	20.5%
	計	2,704.3	2,599.0	3,193.4		3,071.2	
	在宅医療等	4,373.9	4,369.3				
	(再掲)うち訪問診療分	2,078.5	2,079.1				
青森地域	高度急性期	253.2	227.2	337.5	11.1%	303.0	10.7%
	急性期	713.7	705.9	915.0	30.2%	905.0	31.8%
	回復期	1,024.0	1,011.7	1,137.8	37.6%	1,124.1	39.5%
	慢性期	586.7	471.6	637.7	21.1%	512.6	18.0%
	計	2,577.5	2,416.5	3,028.0		2,844.8	
	在宅医療等	4,189.3	4,173.4				
	(再掲)うち訪問診療分	2,045.9	2,050.0				
西北五地域	高度急性期	32.1	69.6	42.8	7.3%	92.8	9.4%
	急性期	146.7	248.8	188.1	32.0%	319.0	32.2%
	回復期	153.8	302.4	170.9	29.1%	336.0	33.9%
	慢性期	170.7	224.9	185.6	31.6%	244.5	24.6%
	計	503.4	845.8	587.4		992.3	
	在宅医療等	1,418.8	1,523.4				
	(再掲)うち訪問診療分	178.5	207.6				
上十三地域	高度急性期	72.3	108.7	96.4	8.2%	145.0	10.2%
	急性期	395.0	459.1	506.4	43.1%	588.6	41.2%
	回復期	333.8	406.3	370.9	31.5%	451.5	31.6%
	慢性期	186.0	223.9	202.1	17.2%	243.3	17.0%
	計	987.0	1,198.0	1,175.7		1,428.4	
	在宅医療等	1,984.9	1,965.1				
	(再掲)うち訪問診療分	887.2	854.9				
下北地域	高度急性期	29.4	46.1	39.2	8.7%	61.5	10.5%
	急性期	126.1	158.1	161.7	35.7%	202.7	34.7%
	回復期	151.3	193.6	168.1	37.1%	215.1	36.8%
	慢性期	77.2	97.0	83.9	18.5%	105.4	18.0%
	計	384.0	494.9	452.9		584.8	
	在宅医療等	862.2	909.8				
	(再掲)うち訪問診療分	342.2	376.1				

医療機能	2014年度 病床機能報告(床)		差引		差引	
	③	構成比	①-③	増減率	②-③	増減率
高度急性期	1,616	10.1%	▲ 458.8	▲ 28.4%	▲ 447.1	▲ 27.7%
急性期	8,098	50.8%	▲ 4,028.3	▲ 49.7%	▲ 4,018.1	▲ 49.6%
回復期	1,438	9.0%	2,800.1	194.7%	2,769.3	192.6%
慢性期	3,074	19.3%	▲ 839.6	▲ 27.3%	▲ 839.5	▲ 27.3%
無回答・未報告等	1,702	10.7%				
計	15,928		▲ 4,228.6	▲ 26.5%	▲ 4,237.4	▲ 26.6%
高度急性期	829	18.8%	▲ 510.6	▲ 61.6%	▲ 576.1	▲ 69.5%
急性期	2,310	52.3%	▲ 1,133.6	▲ 49.1%	▲ 1,334.3	▲ 57.8%
回復期	434	9.8%	874.4	201.5%	607.7	140.0%
慢性期	530	12.0%	▲ 71.1	▲ 13.4%	▲ 31.1	▲ 5.9%
無回答・未報告等	311	7.0%				
計	4,414		▲ 1,152.0	▲ 26.1%	▲ 1,644.9	▲ 37.3%
高度急性期	84	2.3%	238.8	284.3%	229.6	273.3%
急性期	2,172	58.5%	▲ 1,049.8	▲ 48.3%	▲ 1,083.1	▲ 49.9%
回復期	275	7.4%	807.0	293.5%	764.0	277.8%
慢性期	767	20.6%	▲ 100.7	▲ 13.1%	▲ 137.2	▲ 17.9%
無回答・未報告等	417	11.2%				
計	3,715		▲ 521.6	▲ 14.0%	▲ 643.8	▲ 17.3%
高度急性期	697	16.3%	▲ 359.5	▲ 51.6%	▲ 394.0	▲ 56.5%
急性期	1,583	37.0%	▲ 668.0	▲ 42.2%	▲ 678.0	▲ 42.8%
回復期	526	12.3%	611.8	116.3%	598.1	113.7%
慢性期	868	20.3%	▲ 230.3	▲ 26.5%	▲ 355.4	▲ 40.9%
無回答・未報告等	607	14.2%				
計	4,281		▲ 1,253.0	▲ 29.3%	▲ 1,436.2	▲ 33.5%
高度急性期	0	0.0%	42.8	皆増	92.8	皆増
急性期	419	31.5%	▲ 230.9	▲ 55.1%	▲ 100.0	▲ 23.9%
回復期	161	12.1%	9.9	6.2%	175.0	108.7%
慢性期	588	44.2%	▲ 402.4	▲ 68.4%	▲ 343.5	▲ 58.4%
無回答・未報告等	161	12.1%				
計	1,329		▲ 741.6	▲ 55.8%	▲ 336.7	▲ 25.3%
高度急性期	0	0.0%	96.4	皆増	145.0	皆増
急性期	1,145	76.4%	▲ 638.6	▲ 55.8%	▲ 556.4	▲ 48.6%
回復期	19	1.3%	351.9	1,851.9%	432.5	2,276.1%
慢性期	191	12.8%	11.1	5.8%	52.3	27.4%
無回答・未報告等	143	9.5%				
計	1,498		▲ 322.3	▲ 21.5%	▲ 69.6	▲ 4.6%
高度急性期	6	0.9%	33.2	553.3%	55.5	925.5%
急性期	469	67.9%	▲ 307.3	▲ 65.5%	▲ 266.3	▲ 56.8%
回復期	23	3.3%	145.1	630.8%	192.1	835.2%
慢性期	130	18.8%	▲ 46.1	▲ 35.5%	▲ 24.6	▲ 18.9%
無回答・未報告等	63	9.1%				
計	691		▲ 238.1	▲ 34.5%	▲ 106.2	▲ 15.4%

<2025年の医療需要と必要病床数>

パターンB

圏域	医療機能	2025年の医療需要		2025年の必要病床数			
		医療機関所在地ベース(人/日)	患者住所地ベース(人/日)	医療機関所在地ベース(床)		患者住所地ベース(床)	
				①	構成比	②	構成比
県合計	高度急性期	867.9	876.6	1,157.2	9.8%	1,168.9	9.9%
	急性期	3,174.4	3,182.3	4,069.7	34.5%	4,079.9	34.6%
	回復期	3,814.3	3,786.6	4,238.1	35.9%	4,207.3	35.7%
	慢性期	2,153.1	2,153.3	2,340.4	19.8%	2,340.5	19.8%
	計	10,009.7	9,998.8	11,805.4		11,796.6	
	在宅医療等	16,200.1	16,181.2				
	(再掲)うち訪問診療分	6,963.2	6,946.3				
津軽地域	高度急性期	238.8	189.7	318.4	9.7%	252.9	9.1%
	急性期	917.6	761.0	1,176.4	36.0%	975.7	35.2%
	回復期	1,177.5	937.5	1,308.4	40.0%	1,041.7	37.5%
	慢性期	429.4	463.9	466.7	14.3%	504.2	18.2%
	計	2,763.3	2,352.1	3,269.9		2,774.4	
	在宅医療等	3,461.4	3,332.7				
	(再掲)うち訪問診療分	1,431.0	1,378.6				
八戸地域	高度急性期	242.1	235.2	322.8	10.0%	313.6	10.1%
	急性期	875.3	849.3	1,122.2	34.7%	1,088.9	35.0%
	回復期	973.8	935.1	1,082.0	33.5%	1,039.0	33.4%
	慢性期	647.7	614.3	704.0	21.8%	667.7	21.5%
	計	2,739.0	2,633.9	3,231.1		3,109.1	
	在宅医療等	4,339.2	4,334.4				
	(再掲)うち訪問診療分	2,078.5	2,079.1				
青森地域	高度急性期	253.2	227.2	337.5	11.1%	303.0	10.6%
	急性期	713.7	705.9	915.0	30.0%	905.0	31.6%
	回復期	1,024.0	1,011.7	1,137.8	37.3%	1,124.1	39.2%
	慢性期	606.5	491.5	659.2	21.6%	534.3	18.6%
	計	2,597.4	2,436.4	3,049.6		2,866.4	
	在宅医療等	4,169.5	4,153.6				
	(再掲)うち訪問診療分	2,045.9	2,050.0				
西北五地域	高度急性期	32.1	69.6	42.8	6.8%	92.8	9.0%
	急性期	146.7	248.8	188.1	30.1%	319.0	30.9%
	回復期	153.8	302.4	170.9	27.3%	336.0	32.5%
	慢性期	205.8	262.8	223.7	35.8%	285.6	27.6%
	計	538.5	883.6	625.6		1,033.5	
	在宅医療等	1,383.6	1,485.6				
	(再掲)うち訪問診療分	178.5	207.6				
上十三地域	高度急性期	72.3	108.7	96.4	8.2%	145.0	10.2%
	急性期	395.0	459.1	506.4	43.0%	588.6	41.2%
	回復期	333.8	406.3	370.9	31.5%	451.5	31.6%
	慢性期	186.6	223.9	202.8	17.2%	243.3	17.0%
	計	987.6	1,198.0	1,176.4		1,428.4	
	在宅医療等	1,984.2	1,965.1				
	(再掲)うち訪問診療分	887.2	854.9				
下北地域	高度急性期	29.4	46.1	39.2	8.7%	61.5	10.5%
	急性期	126.1	158.1	161.7	35.7%	202.7	34.7%
	回復期	151.3	193.6	168.1	37.1%	215.1	36.8%
	慢性期	77.2	97.0	83.9	18.5%	105.4	18.0%
	計	384.0	494.9	452.9		584.8	
	在宅医療等	862.2	909.8				
	(再掲)うち訪問診療分	342.2	376.1				

医療機能	2014年度 病床機能報告(床)		差引		差引	
	③	構成比	①-③	増減率	②-③	増減率
高度急性期	1,616	10.1%	▲ 458.8	▲ 28.4%	▲ 447.1	▲ 27.7%
急性期	8,098	50.8%	▲ 4,028.3	▲ 49.7%	▲ 4,018.1	▲ 49.6%
回復期	1,438	9.0%	2,800.1	194.7%	2,769.3	192.6%
慢性期	3,074	19.3%	▲ 733.6	▲ 23.9%	▲ 733.5	▲ 23.9%
無回答・未報告等	1,702	10.7%				
計	15,928		▲ 4,122.6	▲ 25.9%	▲ 4,131.4	▲ 25.9%
高度急性期	829	18.8%	▲ 510.6	▲ 61.6%	▲ 576.1	▲ 69.5%
急性期	2,310	52.3%	▲ 1,133.6	▲ 49.1%	▲ 1,334.3	▲ 57.8%
回復期	434	9.8%	874.4	201.5%	607.7	140.0%
慢性期	530	12.0%	▲ 63.3	▲ 11.9%	▲ 25.8	▲ 4.9%
無回答・未報告等	311	7.0%				
計	4,414		▲ 1,144.1	▲ 25.9%	▲ 1,639.6	▲ 37.1%
高度急性期	84	2.3%	238.8	284.3%	229.6	273.3%
急性期	2,172	58.5%	▲ 1,049.8	▲ 48.3%	▲ 1,083.1	▲ 49.9%
回復期	275	7.4%	807.0	293.5%	764.0	277.8%
慢性期	767	20.6%	▲ 63.0	▲ 8.2%	▲ 99.3	▲ 12.9%
無回答・未報告等	417	11.2%				
計	3,715		▲ 483.9	▲ 13.0%	▲ 605.9	▲ 16.3%
高度急性期	697	16.3%	▲ 359.5	▲ 51.6%	▲ 394.0	▲ 56.5%
急性期	1,583	37.0%	▲ 668.0	▲ 42.2%	▲ 678.0	▲ 42.8%
回復期	526	12.3%	611.8	116.3%	598.1	113.7%
慢性期	868	20.3%	▲ 208.8	▲ 24.0%	▲ 333.7	▲ 38.4%
無回答・未報告等	607	14.2%				
計	4,281		▲ 1,231.4	▲ 28.8%	▲ 1,414.6	▲ 33.0%
高度急性期	0	0.0%	42.8	皆増	92.8	皆増
急性期	419	31.5%	▲ 230.9	▲ 55.1%	▲ 100.0	▲ 23.9%
回復期	161	12.1%	9.9	6.2%	175.0	108.7%
慢性期	588	44.2%	▲ 364.3	▲ 62.0%	▲ 302.4	▲ 51.4%
無回答・未報告等	161	12.1%				
計	1,329		▲ 703.4	▲ 52.9%	▲ 295.5	▲ 22.2%
高度急性期	0	0.0%	96.4	皆増	145.0	皆増
急性期	1,145	76.4%	▲ 638.6	▲ 55.8%	▲ 556.4	▲ 48.6%
回復期	19	1.3%	351.9	1,851.9%	432.5	2,276.1%
慢性期	191	12.8%	11.8	6.2%	52.3	27.4%
無回答・未報告等	143	9.5%				
計	1,498		▲ 321.6	▲ 21.5%	▲ 69.6	▲ 4.6%
高度急性期	6	0.9%	33.2	553.3%	55.5	925.5%
急性期	469	67.9%	▲ 307.3	▲ 65.5%	▲ 266.3	▲ 56.8%
回復期	23	3.3%	145.1	630.8%	192.1	835.2%
慢性期	130	18.8%	▲ 46.1	▲ 35.5%	▲ 24.6	▲ 18.9%
無回答・未報告等	63	9.1%				
計	691		▲ 238.1	▲ 34.5%	▲ 106.2	▲ 15.4%

<2025年の医療需要と必要病床数>

パターンC

圏域	医療機能	2025年の医療需要		2025年の必要病床数			
		医療機関所在地ベース(人/日)	患者住所地ベース(人/日)	医療機関所在地ベース(床)		患者住所地ベース(床)	
				①	構成比	②	構成比
県合計	高度急性期	867.9	876.6	1,157.2	9.8%	1,168.9	9.9%
	急性期	3,174.4	3,182.3	4,069.7	34.4%	4,079.9	34.5%
	回復期	3,814.3	3,786.6	4,238.1	35.8%	4,207.3	35.6%
	慢性期	2,172.8	2,174.5	2,361.7	20.0%	2,363.6	20.0%
	計	10,029.3	10,020.1	11,826.7		11,819.7	
	在宅医療等	16,180.5	16,159.9				
	(再掲)うち訪問診療分	6,963.2	6,946.3				
津軽地域	高度急性期	238.8	189.7	318.4	9.7%	252.9	9.1%
	急性期	917.6	761.0	1,176.4	36.0%	975.7	35.2%
	回復期	1,177.5	937.5	1,308.4	40.0%	1,041.7	37.5%
	慢性期	429.4	463.9	466.7	14.3%	504.2	18.2%
	計	2,763.3	2,352.1	3,269.9		2,774.4	
	在宅医療等	3,461.4	3,332.7				
	(再掲)うち訪問診療分	1,431.0	1,378.6				
八戸地域	高度急性期	242.1	235.2	322.8	10.0%	313.6	10.1%
	急性期	875.3	849.3	1,122.2	34.7%	1,088.9	35.0%
	回復期	973.8	935.1	1,082.0	33.5%	1,039.0	33.4%
	慢性期	647.7	614.3	704.0	21.8%	667.7	21.5%
	計	2,739.0	2,633.9	3,231.1		3,109.1	
	在宅医療等	4,339.2	4,334.4				
	(再掲)うち訪問診療分	2,078.5	2,079.1				
青森地域	高度急性期	253.2	227.2	337.5	11.1%	303.0	10.6%
	急性期	713.7	705.9	915.0	30.0%	905.0	31.6%
	回復期	1,024.0	1,011.7	1,137.8	37.3%	1,124.1	39.2%
	慢性期	606.5	491.5	659.2	21.6%	534.3	18.6%
	計	2,597.4	2,436.4	3,049.6		2,866.4	
	在宅医療等	4,169.5	4,153.6				
	(再掲)うち訪問診療分	2,045.9	2,050.0				
西北五地域	高度急性期	32.1	69.6	42.8	6.6%	92.8	8.8%
	急性期	146.7	248.8	188.1	29.1%	319.0	30.2%
	回復期	153.8	302.4	170.9	26.4%	336.0	31.8%
	慢性期	225.5	284.0	245.1	37.9%	308.7	29.2%
	計	558.1	904.9	646.9		1,056.5	
	在宅医療等	1,364.0	1,464.3				
	(再掲)うち訪問診療分	178.5	207.6				
上十三地域	高度急性期	72.3	108.7	96.4	8.2%	145.0	10.2%
	急性期	395.0	459.1	506.4	43.0%	588.6	41.2%
	回復期	333.8	406.3	370.9	31.5%	451.5	31.6%
	慢性期	186.6	223.9	202.8	17.2%	243.3	17.0%
	計	987.6	1,198.0	1,176.4		1,428.4	
	在宅医療等	1,984.2	1,965.1				
	(再掲)うち訪問診療分	887.2	854.9				
下北地域	高度急性期	29.4	46.1	39.2	8.7%	61.5	10.5%
	急性期	126.1	158.1	161.7	35.7%	202.7	34.7%
	回復期	151.3	193.6	168.1	37.1%	215.1	36.8%
	慢性期	77.2	97.0	83.9	18.5%	105.4	18.0%
	計	384.0	494.9	452.9		584.8	
	在宅医療等	862.2	909.8				
	(再掲)うち訪問診療分	342.2	376.1				

医療機能	2014年度 病床機能報告(床)		差引		差引	
	③	構成比	①-③	増減率	②-③	増減率
高度急性期	1,616	10.1%	▲ 458.8	▲ 28.4%	▲ 447.1	▲ 27.7%
急性期	8,098	50.8%	▲ 4,028.3	▲ 49.7%	▲ 4,018.1	▲ 49.6%
回復期	1,438	9.0%	2,800.1	194.7%	2,769.3	192.6%
慢性期	3,074	19.3%	▲ 712.3	▲ 23.2%	▲ 710.4	▲ 23.1%
無回答・未報告等	1,702	10.7%				
計	15,928		▲ 4,101.3	▲ 25.7%	▲ 4,108.3	▲ 25.8%
高度急性期	829	18.8%	▲ 510.6	▲ 61.6%	▲ 576.1	▲ 69.5%
急性期	2,310	52.3%	▲ 1,133.6	▲ 49.1%	▲ 1,334.3	▲ 57.8%
回復期	434	9.8%	874.4	201.5%	607.7	140.0%
慢性期	530	12.0%	▲ 63.3	▲ 11.9%	▲ 25.8	▲ 4.9%
無回答・未報告等	311	7.0%				
計	4,414		▲ 1,144.1	▲ 25.9%	▲ 1,639.6	▲ 37.1%
高度急性期	84	2.3%	238.8	284.3%	229.6	273.3%
急性期	2,172	58.5%	▲ 1,049.8	▲ 48.3%	▲ 1,083.1	▲ 49.9%
回復期	275	7.4%	807.0	293.5%	764.0	277.8%
慢性期	767	20.6%	▲ 63.0	▲ 8.2%	▲ 99.3	▲ 12.9%
無回答・未報告等	417	11.2%				
計	3,715		▲ 483.9	▲ 13.0%	▲ 605.9	▲ 16.3%
高度急性期	697	16.3%	▲ 359.5	▲ 51.6%	▲ 394.0	▲ 56.5%
急性期	1,583	37.0%	▲ 668.0	▲ 42.2%	▲ 678.0	▲ 42.8%
回復期	526	12.3%	611.8	116.3%	598.1	113.7%
慢性期	868	20.3%	▲ 208.8	▲ 24.0%	▲ 333.7	▲ 38.4%
無回答・未報告等	607	14.2%				
計	4,281		▲ 1,231.4	▲ 28.8%	▲ 1,414.6	▲ 33.0%
高度急性期	0	0.0%	42.8	皆増	92.8	皆増
急性期	419	31.5%	▲ 230.9	▲ 55.1%	▲ 100.0	▲ 23.9%
回復期	161	12.1%	9.9	6.2%	175.0	108.7%
慢性期	588	44.2%	▲ 342.9	▲ 58.3%	▲ 279.3	▲ 47.5%
無回答・未報告等	161	12.1%				
計	1,329		▲ 682.1	▲ 51.3%	▲ 272.5	▲ 20.5%
高度急性期	0	0.0%	96.4	皆増	145.0	皆増
急性期	1,145	76.4%	▲ 638.6	▲ 55.8%	▲ 556.4	▲ 48.6%
回復期	19	1.3%	351.9	1,851.9%	432.5	2,276.1%
慢性期	191	12.8%	11.8	6.2%	52.3	27.4%
無回答・未報告等	143	9.5%				
計	1,498		▲ 321.6	▲ 21.5%	▲ 69.6	▲ 4.6%
高度急性期	6	0.9%	33.2	553.3%	55.5	925.5%
急性期	469	67.9%	▲ 307.3	▲ 65.5%	▲ 266.3	▲ 56.8%
回復期	23	3.3%	145.1	630.8%	192.1	835.2%
慢性期	130	18.8%	▲ 46.1	▲ 35.5%	▲ 24.6	▲ 18.9%
無回答・未報告等	63	9.1%				
計	691		▲ 238.1	▲ 34.5%	▲ 106.2	▲ 15.4%